

派遣報告書

倉吉市議会議長 様

平成 26 年 3 月 24 日

倉吉市議会

(代表) 議員 丸田克孝



次のとおり行政視察・調査を行なったので、その結果を報告します。

記

1. 派遣期間 平成 26 年 3 月 17 日 (月) から平成 26 年 3 月 18 日 (火) まで
2. 派遣先 大分県豊後高田市
3. 視察 (調査) 議員名 佐々木 敬敏 丸田 克孝
4. 面会者 豊後高田市観光まちづくり株式会社
豊後高田市商工観光課 観光振興推進室 室長 瀬々 信吉 氏
5. 派遣目的 商店街の活性化と観光の結びつきの取り組みについて
6. 視察の経過及び感想

別添資料

7. 添付資料
 - (1) 豊後高田市「昭和の町」づくり
 - (2) 昭和の町について
 - (3) 豊後高田市観光まちづくり株式会社概要
 - (4) 豊後高田市観光まちづくり株式会社企業概要
 - (5) ほかパンフレット
 - (6) 視察内容写真 数点



要した経費： 2人合計 97,040 円

資料 3,934

会派 くらよし視察報告書

平成26年3月17日（日曜日）春らしい陽気の中、3人はバスと新幹線を乗り継いで約5時間、大分県豊後高田市「昭和ロマン蔵」に到着しました。

13時30分からの視察予約で、商店街の活性化と観光の結びつきの取り組みについて研修をまいりました。

まず、元バスガイド嬢の案内で昭和の町商店街をみて回り、「一店一宝」と「一店一品」の説明を受けました。「一店一宝」とは、その家のお宝で商売とは関係なく、大切に守っている物でした。一軒ずつ店の中、あるいは軒先で説明を聞き、「一店一品」の試食をして、昭和ロマン蔵、おもちゃ博物館を観て、約1時間30分の歩きの後、豊後高田市観光まちづくり株式会社（豊後高田市商工観光課観光振興推進室 室長）瀬々 信吉氏の説明を受け、取り組みの苦勞と歩みと今後について質問を交えながら研修をしました。

見学した商店は10軒にも満たない数ですが、一軒一軒の店の中で「お宝」の説明と「一品」の説明と、そして試食品の提供を受け、購買意欲をそそらせるガイド嬢の説明には感心しました。倉吉も見習う「ボランティアガイド」だと思いました。

一人3,000円のお金を使わせることが目標であると聞きました。

熱心に取り組む人がいて、数少ない協力者でも最後にはまとまって現在があることは、すばらしいと思いますが、挫折しないで、どこまで本気で取り組めるか、また協力者を見つけるのか大変であったろうと感じました。しかし60代の方は「なつかしい」と感じているようですが、昭和の終りから平成の初期に生まれた人は、「なんとなくなつかしい」と感じ、現代の人は昭和を知らない人なので、感動がないという事でした。

今後、観光の町として生き残るために何をどうして行くのかが課題であると言うことでした。我々もそう感じて「昭和の町」を後にしました。